

まんが みみ・はな・のどシリーズ 9

嗅覚・味覚障害

味気ない世界の中心で

調理師をめざすほのかさんの場合

監修・解説／^{みよし}三好 ^{あきら}彰

三好耳鼻咽喉科クリニック院長

南京医科大学国際鼻アレルギーセンター主任教授

中山医科大学耳鼻咽喉科客員顧問

蘇州眼耳鼻咽喉科医院名誉院長

原作／山形三吉

作画監督／西原雅夫

作画統括／たかはしよしひで



目次

コミック

味気ない世界の中心で

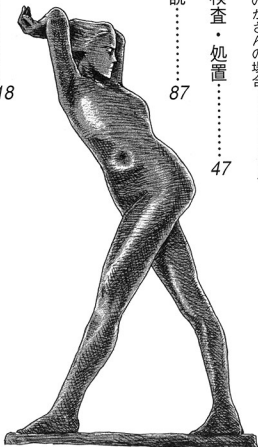
調理師をめざすほのかさんの場合…………… 3

嗅覚・味覚障害の検査・処置…………… 47

嗅覚・味覚障害解説…………… 87

プチ3443劇場…………… 118

あとがき…………… 126





味やにおいを
感じられなくなる
なんて
考えたことが
ありますか

どんなに
おいしいものも
素晴らしい香りも
感じられないなんて
なんと
味気ない
人生なのでしょう

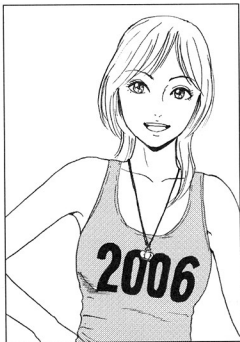
しかし
それだけではなく
生命の危機さえ
あるのです

世界の中心で

調理師をめざすほのかさんの場合



Dr. SHI



HONOKA

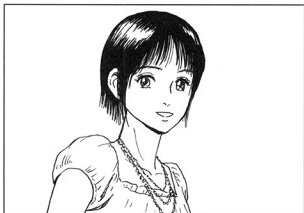
原作／山形三吉

作画監督／西原雅夫

作画統括／たかはしよしひで

嗅覚障害
味覚障害

味気ない



YOSHIMI



Dr. MIYOSHI

監修・解説／^{あ よ し}三好 ^{あ き ら}彰

三好耳鼻咽喉科クリニック院長

南京医科大学国際鼻アレルギーセンター主任教授

中山医科大学耳鼻咽喉科客員顧問

蘇州眼耳鼻咽喉科医院名誉院長



がつ せんだいし
4月 仙台市







それは
わかるけど



みずの
水野さん仕事で
これないって
いまさかく
今企画もので
みよしけんもつ
三好監物の
しるさいちゅう
取材中なの

ごめんね
おまたせ



あたる方
なんです

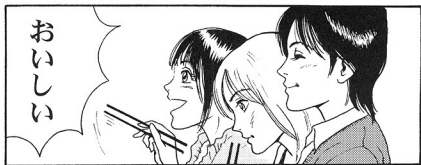
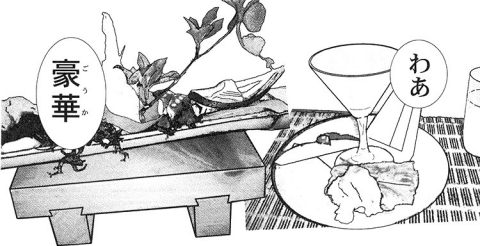
へえ

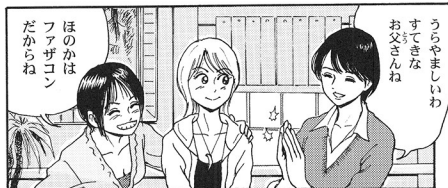
みよしせんせい
三好先生の
ごだいまえ
五代前の先祖に

東北テレビアナウンサー

すぎむらはなこ
杉村花子

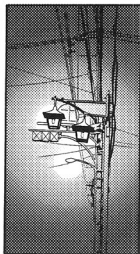
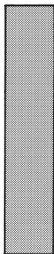














いらつしやい
ませ

ようこそ
おいで
くださいました

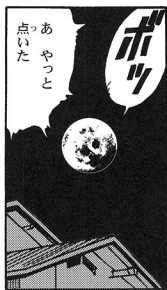


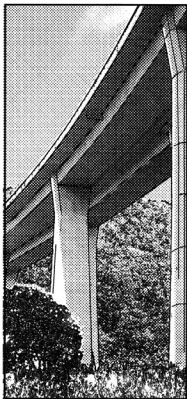
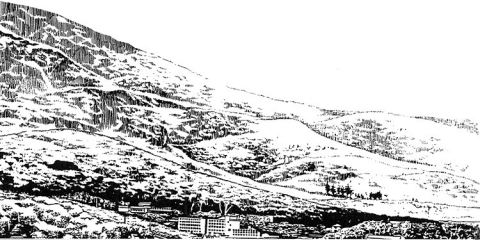
いやあ
そんな…

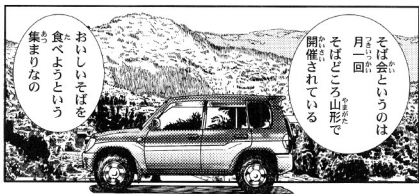
父^{ちち}にくらべたら
まだまだです



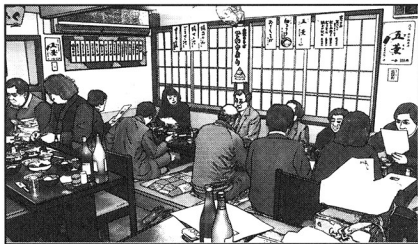
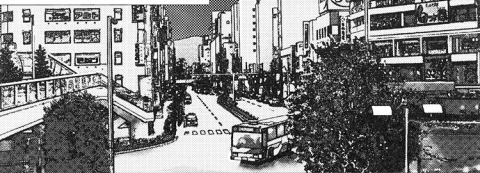


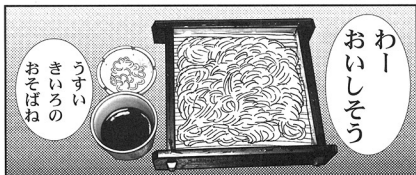






やまがたし
山形市



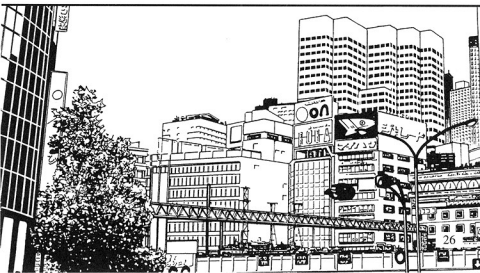
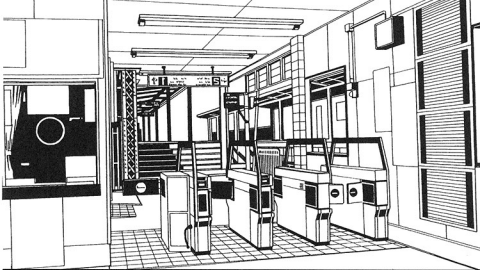


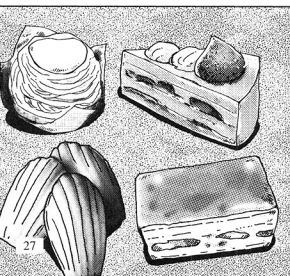


おいしい











どうしよう……！



味がぜんぜんわからない！

助けて！父さん







あ
急いで
正しく
確認
いな!!



せ
せんせい!



ほう
クラシックな
家ですね

親戚の
空き家を
借りてい
るん
です

スロロ...

あかりが
ついている

きつと
家に
いるのよ

キ
イ

ほのか

チャッ

わたし
よー

ほのか

ド

ド

ほのか
あけて

だめ
カギが
かかっている

ガタ
ガタ

ガタ

どいて
!!!

裏のほうから
ガスのにおいが
するわ

失礼
しつれい

つな
てんです



ほのかー

ほのか
さん

う

!!!

大^{たい}変^{へん}



ほのかさん
をさがして
!!!

ぼくは
まじあ
窓を開けます

はい



ほのか
!!!

ほのかさん

大丈夫？
だいじょうぶ

ほのかさん

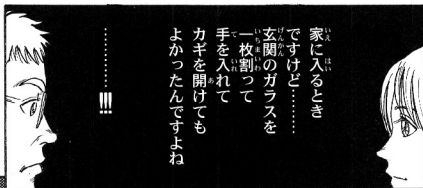


しっかり
して

ほのか
さん







人間の感覚は
五感と言われます
視覚・聴覚・嗅覚・
味覚・触覚のことです

ブルースト Marcel Proust 1871~1922
「失われた時を求めて」(1913~27)で、20世紀文学に革命をもたらしたフランスの作家。1871年7月10日、パリ近郊のオートゥイユで生まれた。父はのちに医学界の権威として公職につく医師。母は裕福なユダヤ系金融業者の娘である。コンドルセ高等中学にまなび、パリ大学で法学、哲学の学士号を取得。高等中学時代から文芸サロンに足しげくかよってパリの社交界にたししみ、かたわら同人誌に短編小説や批評を発表する。のちにこれらをあつめて「愉(たの)しみと日々」(1896)を出版したが、社交界の文学青年の手ざさびとして文壇からは相手にされなかった。社交生活では、有名女性の主催するサロンのほか、大貴族で象徵派の詩人ロベール・ド・モンテスキューのついでで閉鎖的な貴族のサロンにも出入りし、人間観察の目をみがいた。

1895年、自伝的色彩のこい三人称の長編小説に着手するが、結局、長短さまざまな断章のまま99年ころに放棄される。この草稿が、作者の死後にまとめられたのが「ジャン・サンクトゥイユ」(1952)で、すでに「失われた時を求めて」の主要テーマのいくつか、そここに姿をみせている。ついで、イギリスの美術評論家・思想家ラッセンに傾倒し、その著作



Proust

これらのうち
視覚・聴覚はドイツ語で
「精神に近い感覚」と呼ばれ
思考・思索に関与することが
多いとされています

それに対し
きょうかく みかく
嗅覚・味覚は
せいめい ちか かんかく
「生命に近い感覚」
しょうと称されます

聴覚
the sense of hearing

視覚
the sense of sight

嗅覚
the sense of smell

味覚
the sense of palate

触覚
the sense of touch

人間が
生命を維持する
基礎的な部分に
関わっているから
でしょう

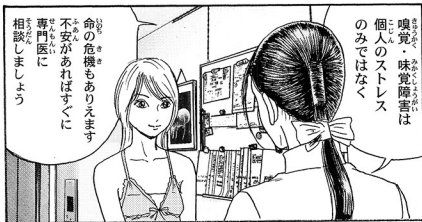
ほのかさん
きつと治りますから

何も
心配しないでね



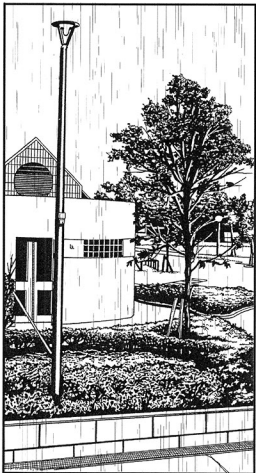
嗅覚・味覚障害は
個人のストレス
のみではなく

命の危機もありえます
不安があればすぐに
専門医に
相談しましょう



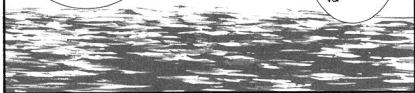
エヘヘ
.....

これから
すぐに
お医者さん^{いしゃ}に
かかりまーす



あのと
き
暗い川を
歩いていたらね

よしみと
三好先生の
声がして
もどる気にな
ったの



ちよつと
ほのか
今リゾート中だよ

ゴメン
ゴメン



ところで
何か大切なことを
忘れていたような
気がするけど

いいんじゃない
どうでも



花子
かぜか？

さあ
？





ほんとう
本当に
ありがとうね

てんどう
天道
ヨ・シ・ミさん



